

2019年11月29日 第303号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

「桜を見る会」うやむやにさせない 総がかり行動実行委員会官邸前行動に 400 人 予算委員会を開け! 権力の私物化やめろ! 安倍首相は説明責任を果たせ! 安倍政権を倒そう!

総がかり行動実行委員会は11月28日夜、冷たい雨が降る中、『桜を見る会』うやむやにさせない! 予算委員会今すぐ開け! 安倍首相は国会に出てこい! 権力私物化やめろ! 11・28官邸前緊急行動」を行い、400人が参加し、『桜を見る会』の疑惑について説明責任を果たせ! 「権力私物化許さない」と安倍首相の責任を迫りました。「桜を見る会」追及本部メンバーである立憲民主党・黒岩宇洋衆院議員、日本共産党・田村智子参院議員、沖縄の風・高良鉄美参院議員、無所属・柚木道義衆院議員、社民党・福島みずほ参院議員が情勢報告を行いました。



総がかり行動実行委員会共同代表・小田川義和全労連議長が主催者あいさつ。「桜を見る会をめぐって安倍首相は説明責任を果たしていない。ウソがウソを呼び、名簿はシュレッダーにかけるなど、霞ヶ関は首相を守るために必死だ。安倍首相は言い逃れするのではなく、説明責任を果たすべきだ」と強調。「反社会勢力を招待したとなれば社会正義からみれば一発アウトの問題。安倍退陣にむけて、市民と野党で力を合わせよう」と呼びかけました。

3人の市民がスピーチ。映画『誰がために憲法はある』の井上淳一監督は「戦犯から首相にまでなった岸信介の映画を作ろうと調べていたら1936～39年の満州の官僚時代の資料

がなくなっていた。安倍首相もおじいさんの真似をして廃棄したのか。公文書は50年後、100年後に検証するために必要なもの。安倍政権の7年間は検証できない」と批判。『ウソが通れば道理引っ込む』許してはいけない。ともにたたかおう」と呼びかけました。

東大名誉教授の醍醐聰さんは「会計上、予算の3倍も使うなどありえない。私物化そのもの、私物化のデパートになっている。政治資金法違反、公職選挙法違反ではないか。逃げ得にさせてはいけない。徹底追及し、年内にも安倍政権を倒そう」と呼びかけました。

看護師の宮子あずさんは「精神科の訪問看護をしているが、訪問先には、生活保護受給者や年金受給者がおり、生活保護や年金の切り下げで、寒くても暖房をつけられずダウンコートを着込んだりしている方がいる。そういう方たちがいる一方で、桜を見る会で湯水のようにお金を使う。こんなことが許されるのか。利益誘導あたりまえ、モラルのない政治が市民をダメにする。桜を見る会は許して、生活保護の人たちのちょっとした贅沢を許さないという感覚が怖い。みんながそうなる前に安倍政権を倒そう」と訴えました。

行動提起を総がかり行動実行委員会共同代表・高田健さんが行いました。「このまま、安倍首相を逃がしてはいけない。全国で野党と一緒にたたかっていくことが必要。当初予定していた12月4日の官邸前行動を大きく成功させよう。19日行動もあるが、緊急に行動を提起するので参加いた

だきたい。韓国や香港のように市民のたたかいで安倍政権を倒そう」と呼びかけました。

●埼玉

オール埼玉総行動 9条壊すな! 戦争させない! 7000人が埋め尽くす

「野党は共闘! 市民と共闘!」と心一つに

11月26日、大宮駅西口でオール埼玉総行動実行委員会が開催した9回目の総行動は、寒い中、7000人を超える参加者が駅前デッキを埋め尽くし、「野党は共闘! 市民と共闘!」と元気にコールしました。

松平晃さんのトランペット演奏で始まり、後援団体の弁護士会、連合埼玉、埼玉労連からのスピーチに続き、メインスピーカーの五十嵐仁さん（法政大学社会問題研究所名誉教授）から、ユーモアたっぷりの痛烈な安倍政権批判があり、立憲野党の代表からは国会報告と改憲阻止、安倍内閣打倒の力強い決意が語られました。

参加者からは「季節はずれの桜問題で、今が安倍政権を倒すチャンスだ」と元気に抱負が語られていました。



「埼玉から改憲阻止を」

主催者代表でありさつした小出重義実行委員長は、ムクドリの大群が驚いていっせいに飛び立つほどの大声で「今度行われる総選挙は正念場になる。埼玉から安倍9条改憲阻止を全国に広げよう」と力強い訴えを行いました。

頼もしい後援3団体

全国各地の仲間から「なぜ埼玉は恒常的に市民と野党の共同行動が出来るの?」と問われますが、その役割を担っているのが、埼玉弁護士会、連合埼玉、埼玉労連の後援3団体です。

県レベルで、安倍9条改憲反対の決議を上げ、独自に改憲反対デモを繰り返している弁護士会は埼玉だけです。そして、かつては「犬猿の仲」と言われていた連合埼玉と埼玉労連が毎回の総行動で共にスピーチをしているのも全国的には珍しいことで、地域での草の根の共同にも元気を与えてくれています。

桜を見る会で安倍政治批判

ゲストスピーカーの五十嵐仁さんは「桜を見る会はひどい。安倍政治はあまりにも悪質だ。信頼できる政治を実現しよう」と訴えました。

市民と野党の共闘が大事 野党連合政権へ発展を!

立憲民主党の初鹿明博衆院議員は「埼玉はすごいですね」と感想を述べ、「まともな民主主義を取り戻すには市民と野党の共闘しかない」と力強く訴えました。

国民民主党の津村啓介衆院議員は、経済政策面からも国民生活を守るため、安倍内閣を倒すことが必要と訴えました。日本共産党の穀田恵二衆院議員は「野党は共闘から野党連合政権へ発展を」と呼びかけました。社民党の福島みずほ参院議員は「自民党の改憲案提示を阻止できていることは凄い。引き続き野党がしっかり団結していくことが大切」と語り、参加者から大きな声援と拍手がおくられました。

★権力私物化やめろ! 政治腐敗に怒りを! 安倍政治を終わらせよう! 12・4官邸前大行動

12月4日(水) 18時30分～ 首相官邸前 ご参加ください。